

平成 22 年 5 月 20 日現在

研究種目：若手研究(B)  
 研究期間：2007 年度～2009 年度  
 課題番号：19720239  
 研究課題名（和文）パプアニューギニアにおける森林開発を通して見たマレーシア華人のネットワーク  
 研究課題名（英文）The Study of Malaysian Chinese Networks: As seen in their logging activities in Papua New Guinea.

研究代表者 市川 哲 (ICHIKAWA TETSU)  
 立教大学・観光学部・プログラムコーディネーター  
 研究者番号：40435540

研究成果の概要（和文）：本研究はマレーシアおよびパプアニューギニアで森林開発に従事する華人に注目し、これらの人々が構築するトランスナショナルな社会空間とネットワークの実態を明らかにした。従来の華人のトランスナショナルな活動に関する研究では、華人の国際的な組織の設立や投資活動等を取り扱う傾向があった。これに対し本研究は、森林開発が、華人系林業企業の国外での操業や、華人企業関係者の国際移動、華人と他の民族集団との接触という、トランスナショナルな現象を引き起こすことに注目した。

研究成果の概要（英文）：The aim of this research project is to investigate the Chinese transnational networks and their social spaces. To understand this problem, this project researched Malaysian Chinese who are engaging logging activities in Papua New Guinea. This research project chose Malaysian Chinese communities in Papua New Guinea as a case study. This project researched Malaysian logging companies' overseas operations, the company workers migration, and the interaction between the Malaysian Chinese and local people in Papua New Guinea.

## 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	1,100,000 円	0 円	1,100,000 円
2008 年度	900,000 円	270,000 円	1,170,000 円
2009 年度	1,000,000 円	300,000 円	1,300,000 円
年度			
年度			
総計	3,000,000 円	570,000 円	3,570,000 円

研究分野：文化人類学・民俗学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学

キーワード：(1) パプアニューギニア、(2) マレーシア、(3) 華人、(4) 森林開発、(5) トランスナショナリズム、(6) ネットワーク、(7) 人口移動、(8) 国際移民

## 1. 研究開始当初の背景

本科研代表者は 1999 年以來、マレーシアやパプアニューギニア、オーストラリアで華人

の移住とコミュニティを対象とした現地調査を行ってきた。そして個別の華人コミュニティを、それを取り巻く政治経済的なマクロな背景の中に位置付けてきた。特に華人の

スニシティが、移住や定住、他地域の華人社会との間で構築されるネットワーク等の様々な要因によって、いかに変容してきたのかに注目してきた。本科学研究プロジェクトは、このような研究代表者のこれまでの研究を発展させ、パプアニューギニアに流入し活動するマレーシア華人が、出身地であるマレーシアとの間にどのようなネットワークを構築し、さらにはパプアニューギニアに居住するマレーシア華人以外の華人とどのような関係を取り結んでいるのかを把握することを試みた。

## 2. 研究の目的

本科学研究プロジェクトは華人のトランスナショナルな活動やネットワークの形成が、国境を越えた華人としての統一的なアイデンティティを形成すると同時に、それぞれの居住地における地域的な差異を明確化し、よりローカルなレベルでのアイデンティティを多様化させるという現象を明らかにすることを目的とする。そのための事例として、本研究プロジェクトではパプアニューギニアの森林地帯で木材の伐採に従事する、マレーシア系林業企業の華人従業員を選択した。そしてそれにより、パプアニューギニアとマレーシアという二つの地域を横断する、トランスナショナルな企業活動がもたらす、マレーシア華人のアイデンティティの再構築の過程を、文化人類学的なフィールドワークに基づく視点から明らかにすることを目的としている。華人のネットワークに注目する従来の先行研究では、その多くが血縁や地縁といった紐帯が、世界各地の華人をいかにして結び付けるかという観点に依拠するものが多かった。また華人のトランスナショナルな活動に注目する先行研究の多くは、世界各地の華人が中国を中心とし、いかにしてトランスナショナルなネットワークを構築するかといった視点から議論を進める傾向があった。これに対し本研究は、マレーシアとパプアニューギニアという具体的な地域間で、華人がいかにしてトランスナショナルなネットワークを構築しているのかを、文化人類学的な現地調査に基づく視点から明らかにすることを目的としている。

## 3. 研究の方法

本研究プロジェクトはマレーシア華人のトランスナショナルなネットワークと、それによって形成される社会空間の特徴を対象とした文化人類学的な調査に依拠している。そのための主要な研究方法として、マレーシア華人の単一の居住地のみを対象とした調査を行うのではなく、トランスナショナルな活

動の中で意味を持つ、複数の場所を視野に入れた調査を行った。具体的には、マレーシア華人の移民送出地域と、マレーシア華人の移民先という二つの地域でフィールドワークを行った。特にこれらの地域でのフィールドワークで得られた民族誌的情報を、より大規模なレベルでの華人のトランスナショナルな社会空間の中に位置付けて把握するという研究手法をとった。それにより、トランスナショナルなコミュニティ活動や、人や情報、ライフスタイル等の流動に注目した、マルチ・サイテッドな民族誌的研究を試みる。具体的にはマレーシア、サラワク州とパプアニューギニアの首都ポートモレスビーでマレーシア華人コミュニティを対象とした文化人類学的なフィールドワークを行った。そして両地域における華人系企業や華人コミュニティを対象とした参与観察やインタビュー調査を行った。また現地の大学や研究機関、新聞社の資料室等を訪問し、文献資料の収集も行った。

## 4. 研究成果

パプアニューギニアにおける森林開発の概況と、マレーシア華人の国際的な活動に関する研究に関する文献資料の収集と分析を行い、パプアニューギニアにおける森林開発に関しては統計資料に依拠した報告書や環境問題に在地住民が如何にして関わっているかをテーマとした研究が多いが、国内の森林伐採に関し無視できない存在となっているマレーシア華人やマレーシア企業をテーマとしたものはほとんど存在しないことが明らかになった。また、マレーシアから国外に移住する華人に関する研究も、断片的な報告にとどまり、本格的な民族誌は存在しないことが明らかになった。またフィールドワークはマレーシアとパプアニューギニア双方で行った。現地では研究機関や新聞社での資料収集や現地の研究者との意見交換を行った。またフィールドワークでは、特にサラワク州のラジャン川流域のシブ、カピット、ブラガといった都市を訪問し、森林伐採に従事する人々や、マレーシアから PNG へと移住する人々に関する調査を行った。またパプアニューギニアの首都ポートモレスビーで現在形成されつつあるマレーシア華人の林業関係者のコミュニティを対象とした調査を行った。それにより(1)マレーシアのサラワク州やサバ州における華人系林業企業の海外での活動はマレーシアに限らず、他の太平洋地域やアフリカ等にまで及んでおり、パプアニューギニアでの操業はそうしたマレーシア華人系企業のグローバルなレベルでの活動の一部として捉えられること。(2)このような企業による森林伐採といった「資源開

発」が人口移動を費子起こす要因となっていること。(3)それにより、企業関係者が渡航先でコミュニティを形成すること。(4)これらの華人コミュニティは、企業の動向や渡航先社会の動向に従い、帰国や第三国への再移住、長期間にわたる滞在など多様な方向性を示すこと。(5)こうした新たな形の人口移動は、在地社会からの困惑や反感といった反応を引き起こす可能性があること。が明らかになった。これらの成果は学術論文の執筆や国際会議で英語により研究発表することにより公表した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 7 件)

①市川哲 2010年 「オセアニアの華人社会—植民地の労働力移民からトランスナショナルな生活実践へ—」熊谷圭知・片山一道編著『朝倉世界地理講座 15 オセアニア』朝倉書店、389-402頁。

②市川哲 2009年 「移住経験から見るサブ・エスニシティの説明方法—パプアニューギニア華人を事例として—」『社会人類学年報』第35号、121-137頁。(東京都立大学社会人類学会) (査読有)

③市川哲 2009年 「新たな移民母村の誕生—パプアニューギニア華人のトランスナショナルな社会空間—」『国立民族学博物館研究報告』第33巻第4号、551-598頁(国立民族学博物館)。(査読有)

④市川哲 2009年 「チャイナタウンからグローバル・シティへ—パプアニューギニア華人にとってのストリート経験—」関根康正編『ストリートの人類学 下巻(国立民族学博物館調査報告)』81号、303-325頁。(国立民族学博物館) (査読有)

⑤ ICHIKAWA Tetsu 2008 'The Role of Religion in Chinese Subethnicity: Christian Communities of Papua New Guinean Chinese in Australia' *People and Culture in Oceania* 24:31-50. (The Japanese Society for Oceanic Studies) (査読有)

⑥市川哲 2008年 「人の移動の交差点としてのコミュニティ—パプアニューギニアをめぐる華人の国際移動—」人の移動と文化変容研究センター編『国際的な人の移動と文化変容』ハーベスト社、204-219頁。(査読無)

⑦市川哲 2007年 「サブ・エスニシティ研究にみる華人社会の共通性と多様性の把握」『華僑華人研究』(日本華僑華人学会) 第4号、69-80頁。(査読有)

[学会発表] (計 10 件)

① ICHIKAWA Tetsu 2009 'Creating New Homeland: Remigration and Locality of Papua New Guinean Chinese.' at Organized Panel "Politics or Culture? :Reflections on Diasporic Chinese." (Panel Organizer: Gyo MIYABARA, Osaka University) at the 7th Annual meeting of The Japan Society for the Studies of Chinese Overseas. (Osaka University, Osaka, Japan) (14th of November, 2009)

② ICHIKAWA Tetsu 2009 'Subethnic Identity in Transnational Social Space: Religion and Locality of Papua New Guinean Chinese.' at Organized Panel "Religion and Social Space: Anthropological Studies in Asian Societies (Panel Organizer: Tetsu ICHIKAWA)" at International Conference "International Convention of Asia Scholars 6" (Daejeon Convention Center, Daejeon, Korea) (6th of August, 2009)

③ ICHIKAWA Tetsu 2009 'Natural Resources and International Migration: Malaysian Chinese Community in Papua New Guinea.' at International Conference "Society for East Asian Anthropology & Taiwan Society for Anthropology and Ethnology 2009 Conference." (Academia Sinica, Taipei, Taiwan) (5th of July, 2009)

④ ICHIKAWA Tetsu 2009 'The Meaning of Religion and Language in Chinese Subethnicity' at International Conference "The 7th Annual Hawaii International Conference on Arts and Humanities" (The Convention Center of Hotel Hilton Waikiki, Hawaii, USA) (10th of January, 2009)

⑤ ICHIKAWA Tetsu 2008 'Religion as Diacritic of Subethnicity: A Case Study of Papua New Guinean Chinese Community in Australia' at International Conference on "Globalization: Culture, Institutions and Socioeconomics" (The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, Peoples Republic of China) (12th of December, 2008)

⑥ ICHIKAWA Tetsu 2008 ‘From Sarawak to Papua New Guinea: The Transnational Social Space of Malaysian Chinese’ at “The 9th Biennial Conferences of Borneo Research Council” (Universiti Malaysia Sabah, Kota Kinabalu, Malaysia) (29th of July, 2008)

⑦ 市川哲 2007 「トランスナショナルな社会空間におけるエスニシティー・パプアニューギニアの華人を事例として」日本華僑華人学会第5回大会、パネル「中国系移民の土着化・クレオール化・華人化についての歴史人類学」(パネル代表:三尾裕子・東京外国語大学)、於・慶應義塾大学(2007.11.17)

⑧ 市川哲 2007 「パプアニューギニア、ニューアイルランド島の華人にとっての『伝統文化』とローカリティ」民族藝術学会第108回例会、於・国立民族学博物館(2007.11.3)

⑨ ICHIKAWA Tetsu 2007 ‘Diversification of Ethnic Identities in Transnational Social Space: Comparative Study of Malaysian Chinese and Papua New Guinean Chinese’ at “International Convention of Asia Scholars 5th” (Kuala Lumpur Convention Centre, Malaysia) (2nd of August, 2007)

⑩ 市川哲 2007 「人口移動と経済活動を通して見たマレーシア、サラワク州における華人の居住パターンの変化」日本文化人類学会第41回研究大会、於・名古屋大学(2007.6.3)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

市川 哲 (ICHIKAWA TETSU)  
立教大学・観光学部・プログラムコーディネーター  
研究者番号: 40435540

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

なし